

Market Watching

発表日: 2019年9月17日(火)

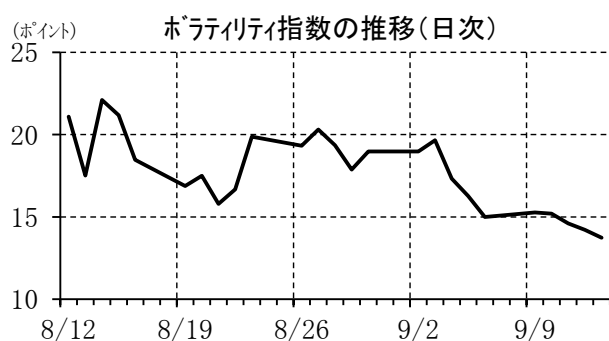
一難去ってまた一難(マーケットウィークリー)
 ~市場の動きはリスク回帰から再びリスク回避へ~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
9月9日(月)	日本: 実質GDP (4-6月二次速報値)	+1.3%	+1.3%	+1.8%	前期比年率
	日本: 国際収支統計 (7月)・経常収支	+19,999	+20,472	+12,112	億円、原数値
	日本: 景気ウォッチャー調査 (8月)・先行き判断DI	39.7	43.6	44.3	
9月10日(火)	中国: 消費者物価指数 (7月)	+2.8%	+2.6%	+2.8%	前年比
9月11日(水)	日本: 法人企業景気予測調査 (7-9月)	▲0.2	—	▲10.4	BSI大企業製造業
9月12日(木)	日本: 企業物価指数 (8月)	▲0.3%	▲0.2%	0.0%	前月比
	日本: 機械受注統計 (7月)・船電除く民需	+0.3%	▲4.2%	+12.5%	前年比
	マレーシア: 金融政策委員会	3.00%	3.00%	3.00%	翌日物政策金利
	ユーロ: 鉱工業生産 (7月)	▲0.4%	▲0.1%	▲1.6%	前月比
	トルコ: 金融政策委員会	16.50%	17.125%	19.75%	1週間物レバ金利
	ユーロ: ECB理事会・ECB主要政策金利	0.00%	0.00%	0.00%	
	・ECB預金ファシリティ金利	▲0.50%	▲0.50%	▲0.40%	
	米国: 消費者物価指数 (8月)・総合	+1.7%	+1.7%	+1.8%	前年比
	・コア	+2.4%	+2.3%	+2.2%	前年比
9月13日(金)	米国: 小売売上高 (8月)・全体	+0.4%	+0.3%	+0.7%	前月比
	・除自動車	0.0%	+0.2%	+1.0%	前月比
	米国: ミシガン大学消費者信頼感指数 (9月速報値)	92.0	90.0	89.8	ポイント
9月14日(土)	—				
9月15日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.896	+33.6	+13.3	▲95.7	1.563	1.721	2.165
日本	-0.160	+8.5	+8.0	▲27.0	-0.248	-0.180	-0.084
ドイツ	-0.449	+18.9	+16.0	▲87.2	-0.641	-0.438	-0.109
豪州	1.157	+6.8	+22.4	▲144.7	0.965	1.193	1.715
株価							
NYダウ	27219.52	+1.6	+3.6	+4.1	26299	26495	25709
日経平均	21988.29	+3.7	+7.5	▲3.7	20817	21121	21155
ユーロSTOXX50	3550.11	+1.6	+5.7	+6.5	3409	3433	3327
上海総合	3031.24	+1.1	+8.4	+12.8	2913	2916	2873
為替相場							
ドル/円	108.07	+1.1	+1.2	▲3.4	106.55	107.45	109.43
ユーロ/円	119.70	+1.5	+0.4	▲8.5	117.98	120.19	123.23
豪ドル/円	74.34	+1.6	+2.5	▲7.7	72.32	74.02	76.76
ユーロ/ドル	1.1074	+0.4	▲0.9	▲5.3	1.107	1.118	1.126
商品市況							
WTI	54.85	▲3.0	▲3.9	▲20.0	55.58	55.77	56.25
金	1492.9	▲1.1	▲0.6	+24.1	1516	1439	1346

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (9/9~9/13) の金融市場は、前週に続いて株高・債券安 (金利上昇) の流れが続いた。国際情勢に対する懸念が後退し、景気に対する楽観的な見方が一段と拡大したことが背景。注目されたECB理事会では、預金ファシリティ金利の引き下げに加え、11月からの資産購入も決定された。米国に加えユーロ圏も金融緩和に転じ、流動性の供給拡大の流れとなったことで、市場のセンチメントは一段と改善した。米国では、消費者物価 (コア) が市場予想を上回る伸びとなったことに加え、小売売上高も好調な結果となったことで、主に長期ゾーンの金利上昇が目立った。ドル/円相場は1ドル=108円台で越週した。

今週のマーケットは、こここのところの株高・債券安の流れに一旦歯止めがかかる可能性がある。週末にサウジアラビアの石油施設が攻撃を受け、同国の石油産出量が半減している影響で原油価格が急騰している。トランプ米大統領は、戦略的備蓄からの原油放出を許可したが、原油の中東依存度が年々低下している (足元で20%強) 米国の措置が、世界の原油需給を緩和させる効果は限定的。原油価格の上昇は物価上昇要因ともなるが、エネルギーコストの上昇によって個人消費などに悪影響を及ぼす側面の方が、個人消費で支えられている足元の世界経済には重大。サウジの原油生産への影響が長期化して原油価格が高止まりすれば、市場の展開は単なるリスク回避ではなく、景気失速を視野に入れたものへと転じるリスクもある。このほか、混乱が続く警察との衝突が激化している香港情勢なども、展開次第では市場のリスク回避の動きを強める可能性があり要注意だ。なお、日米では金融政策の決定会合が行われ、FRBでは利下げが予想されている。焦点は先行きも追加利下げを辞さない姿勢を維持できるかどうか。日本では追加緩和となればサプライズだが、市場への影響は短いものとなる。



【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
9月16日(月)	中国：鉱工業生産(7月)	★★	+5.2%	+4.8%	前年比
	中国：小売売上高(7月)	★★	+8.0%	+7.6%	前年比
	中国：固定資産投資(7月)	★	+5.7%	+5.7%	年初来前年比
	米国：NY連銀製造業景気指数(8月)	★★	+4.0	+5.0	ポイント
9月17日(火)	米国：鉱工業生産指数(8月)	★★	+0.2%	▲0.2%	前月比
9月18日(水)	日本：貿易統計(8月)・輸出	★★	▲10.1%	▲1.5%	前年比
	・輸入		▲11.0%	▲1.2%	前年比
	・貿易収支		▲3,463	▲2,507	億円
	米国：住宅着工件数(8月)	★	125.0	119.1	万件
	米国：FOMC・上限金利	★★★	2.00%	2.25%	FF金利
	・下限金利	★★★	1.75%	2.00%	FF金利
	・パウエルFRB議長記者会見	★★★			
ブラジル：金融政策委員会	★	5.50%	6.00%	政策金利 (Selic)	
9月19日(木)	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利	★★★	—	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
	・10年債利回り操作目標	★★★	—	0.00%	10年物国債利回り
	・総裁記者会見	★★★			
	日本：基準地価(令和元年)・全国平均		—	+0.1%	前年比
	スイス：金融政策決定会合		▲0.75%	▲0.75%	SNB要求払預金金利
	台湾：金融政策委員会	★	1.375%	1.375%	公定歩合
	インドネシア：金融政策決定会合	★	5.25%	5.50%	7日物リバースポ金利
	ルウェー：金融政策委員会	★	1.25%	1.25%	中銀預金金利
	英国：金融政策決定会合	★	0.75%	0.75%	翌日物貸出金利
	南ア：金融政策委員会	★	6.50%	6.50%	平均レポレート
	米国：フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(8月)	★★	+11.5	+16.8	ポイント
米国：中古住宅販売件数(7月)	★	539	542	万件	
9月20日(金)	日本：全国消費者物価指数(8月)・総合		+0.3%	+0.5%	前年比
	・除生鮮食品	★	+0.5%	+0.6%	前年比
9月21日(土)	—				
9月22日(日)	—				

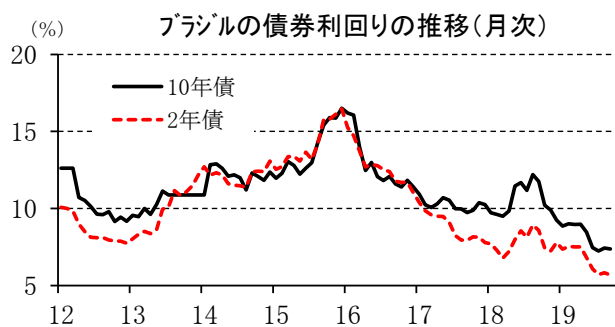
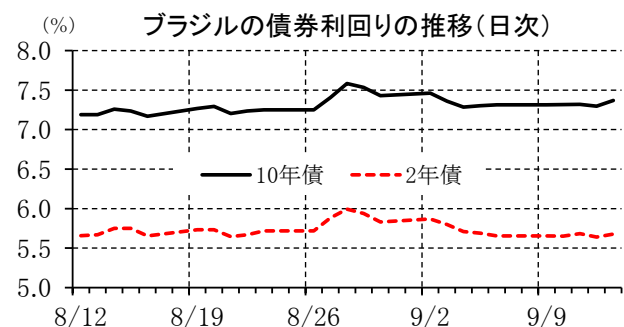
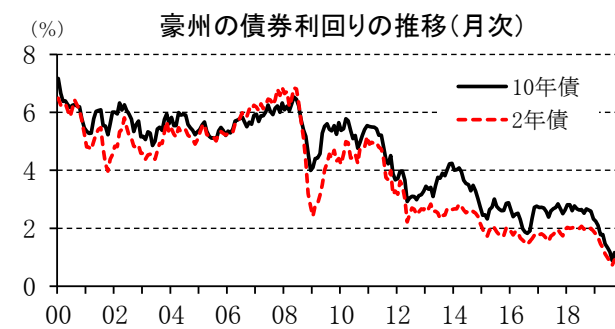
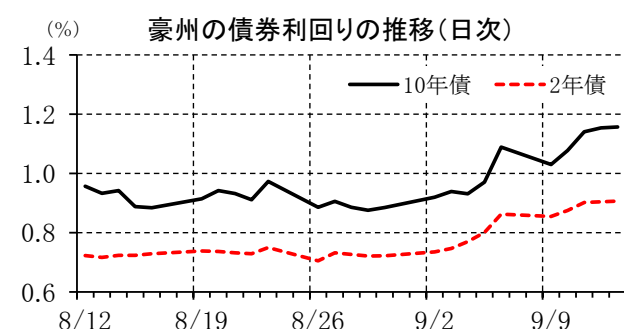
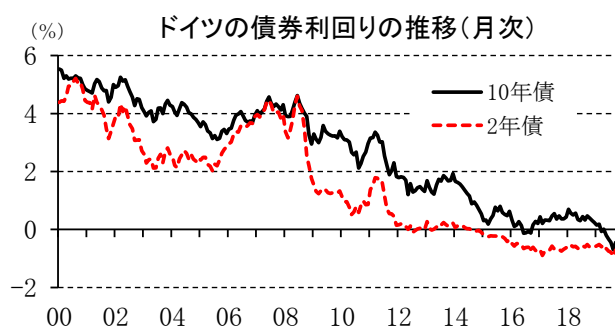
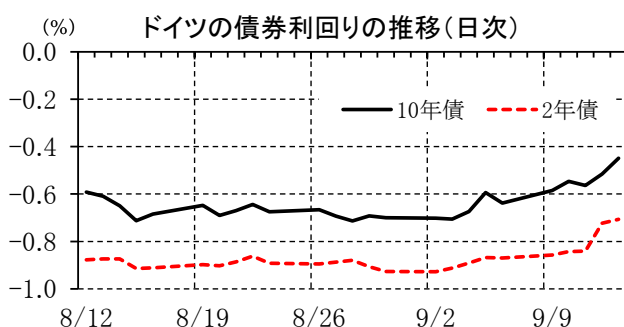
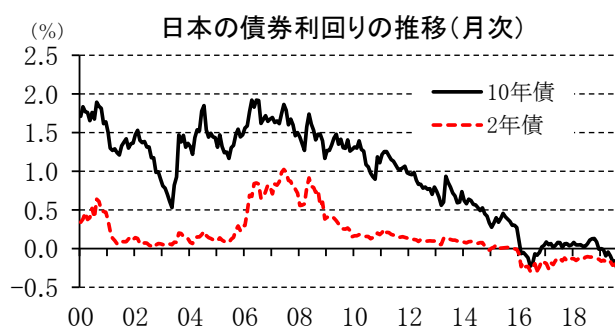
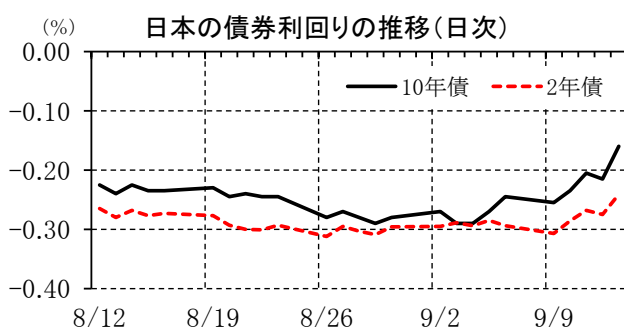
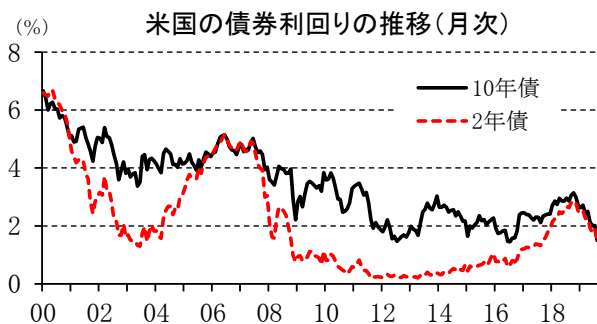
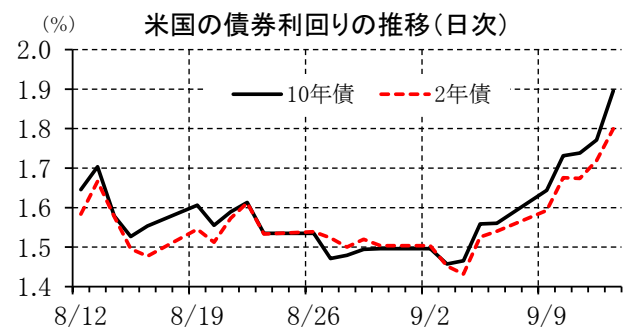
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

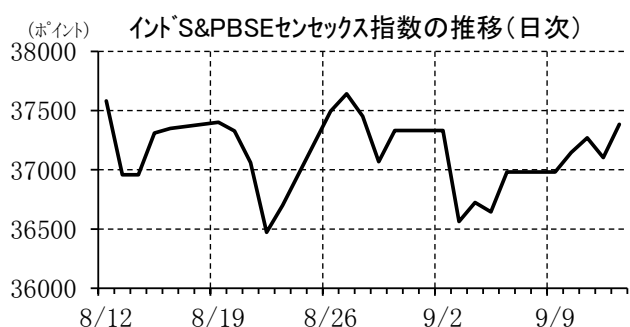
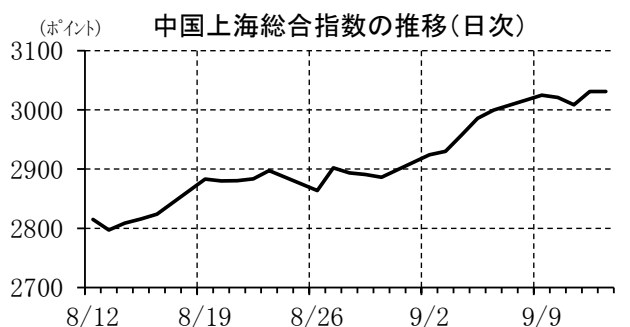
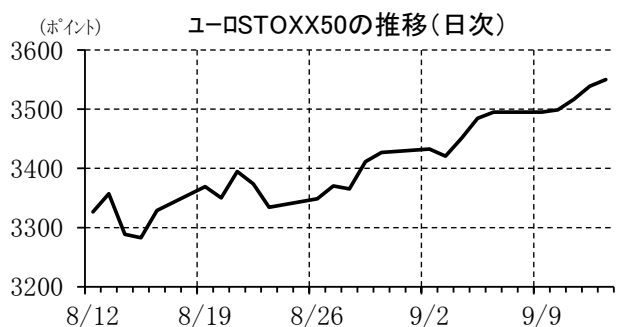
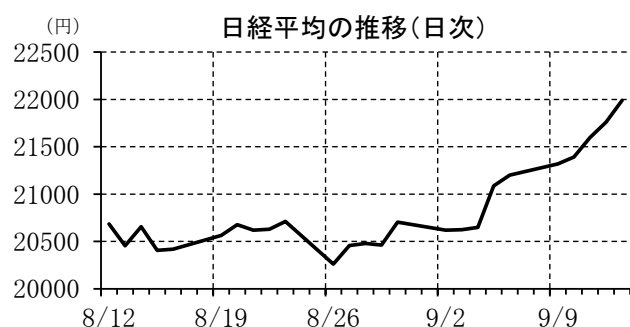
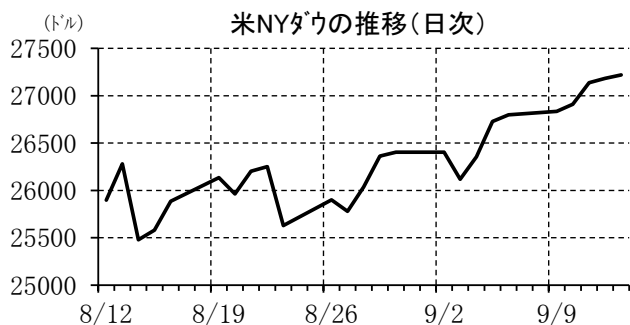
発表日	イベント	注目度	備考
9月16日(月)	—		
9月17日(火)	イスラエル：大統領選挙(再選挙)		
	ユーロ：ヒレワトカポロ中銀総裁講演	★	
	ユーロ：レンECB理事講演	★	
	国連総会(～9/30)		
9月18日(水)	—		
9月19日(木)	ユーロ：ケレECB理事講演	★	
	ユーロ：レンフィナンツト中銀総裁講演	★	
9月20日(金)	日本：月例経済報告		
9月21日(土)	—		
9月22日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

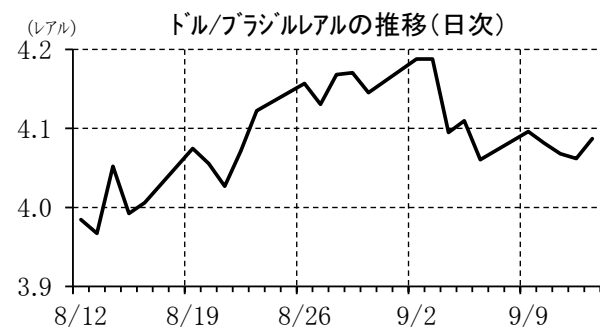
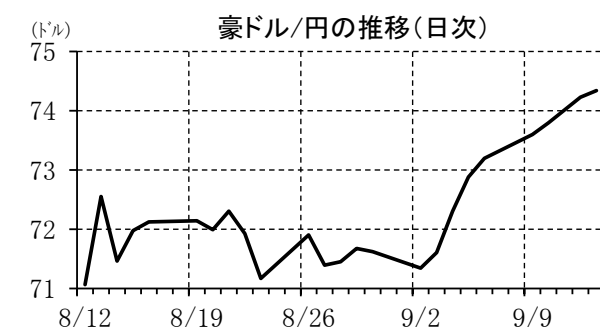
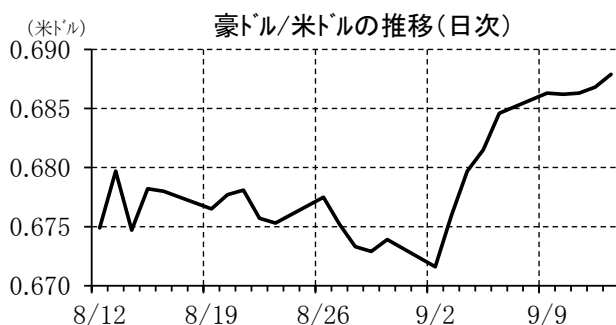
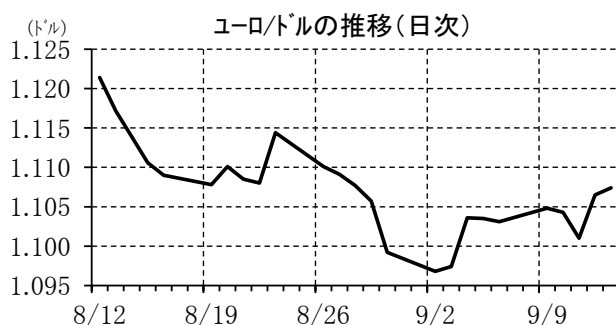
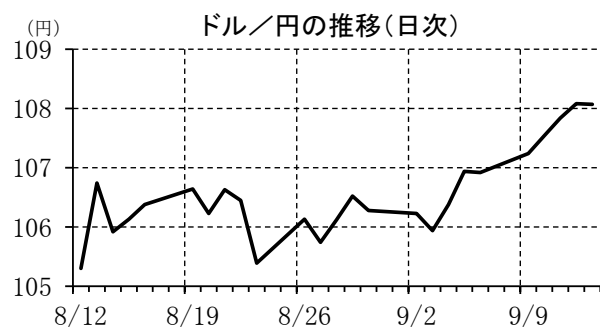
【債券利回り】



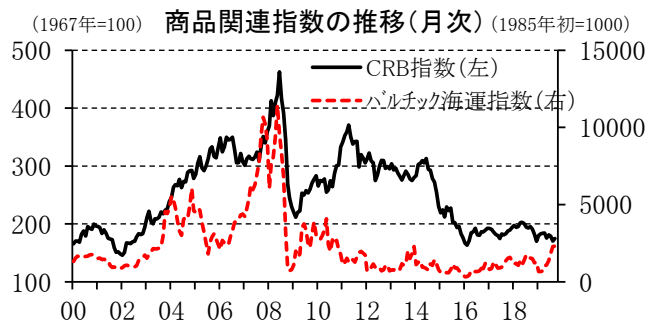
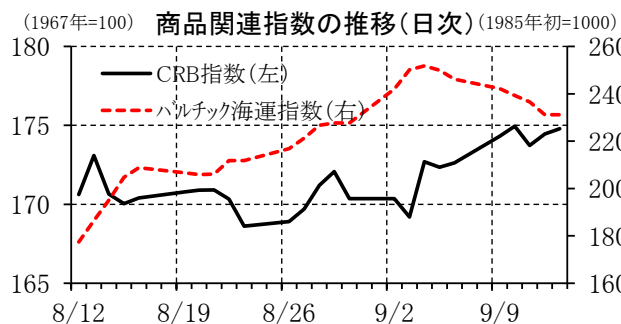
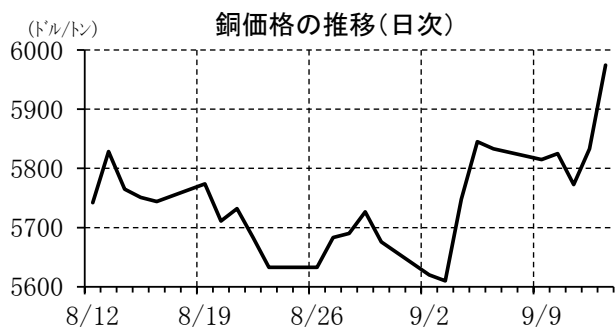
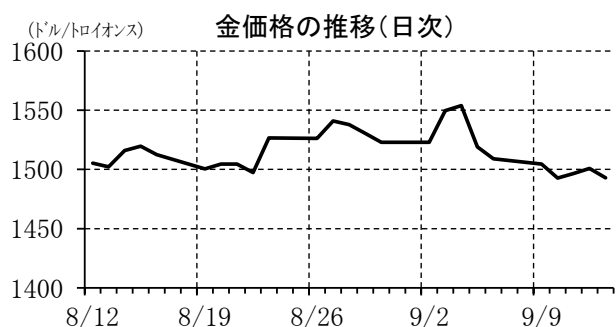
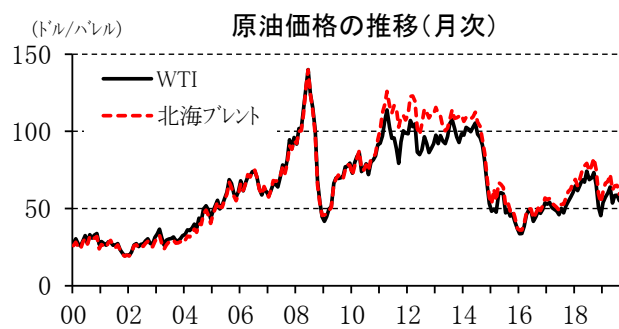
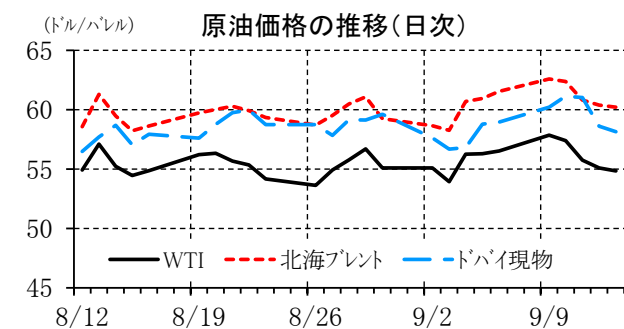
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。